

オリーブの会通信

2022年6月

発行：KHJ 香川県オリーブの会

〒760-0043 高松市今新町4番地20

連絡先 TEL 087-802-2568

<http://khj-olve.com/>



去る5月22日開催の「通常総会」は、対コロナがまだまだ安心できる状況にはありませんでしたが、会場が格別緻密な対策を実施していることもあり協議の上、昨年同様に実際に会員が集まる方式で予定通り実施することができました。

総会は先ず議長に川井富枝氏を選出、各議案説明は松本一幸代表が行い、議場から質問や意見が出されるなど真剣かつ熱心な審議の結果、議案の全てが承認されました。(出席者：委任状含29名)

今回の総会の特徴としては、2021年度事業報告の議題審議の中で、総会資料の記載事項のうち主な活動について丁寧に説明を行ったことがあります。これは総会を単に形式的に行うのではなく、自らが主体的に創設し運営している会の1年間の振り返りの機会として総会を位置づけ、みんなで真摯に評価し合い充実感を得る中で今後の歩みのエネルギーの源にしたいという思いによるものです。

当会は来月7月に活動開始から数え**20年目という大変大きな節目**を迎えます。会員の中には発会時のメンバーの方もおられ、特にこの方々の今日までの長年のご労苦に対して深く感謝を申し上げたいと思います。

丁度1年前の本機関誌で、2021年4月からの改正「社会福祉法」のもと複合的な問題について分野を超えて包括的・重層的な支援体制の整備に向け、ひきこもりの複合的な課題に対しても、市町村で様々な課題を包括したワンストップ型の相談窓口機関の設置と支援体制の整備が全国的に進められる旨記載しました。

香川県では県都高松市が先陣を切って本年4月から開始するひきこもり問題に対する社会的理解の拡大と深化と合わせ具体的内容について、今年4月の月例会で高松市健康福祉総務課地域共生社会推進室の藤川盛司室長からご説明をいただきました。

この5月筆者は困り事に当面し早速相談窓口を訪ね相談しました。結果、その課題は当日のうちに見事に解決に至りました。今後、私たちに求められるのは機関を活用することであることを体験しましたし、それは機関の存在意義の拡大と改善に繋がっていくと考えます。

第 238 回月例会ご案内

日 時	2022 年 6 月 19 (日) 13 : 30~16 : 30 (受付 : 13:00~)
場 所	かがわ総合リハビリテーションセンター 「福祉センター」 2階 第1研修室 〒761-8057 高松市田村町 1114 番地 Tel : 087-867-7686
内 容	☆一部 13 : 30~ 会からの諸報告 13 : 40~ DVD 視聴による研修 テーマ「2021 年度 KHJ 全国大会・ひきこもり全国実践研修会」 の中から選定 (2021 年11 月 27 & 28 日) ☆二部 (第一部終了後 10 分程度休憩 の後) 15 : 30~16:30 グループ別 話し合い

第 239 回月例会ご案内

日 時	2022 年 7 月 24 (日) 13 : 30~16 : 30 (受付 : 13:00~)
場 所	かがわ総合リハビリテーションセンター 「福祉センター」 2階 第1研修室 〒761-8057 高松市田村町 1114 番地 Tel : 087-867-7686
内 容	☆一部 13 : 30~ 会からの諸報告 13 : 40~15:20 講演 講演『ひきこもりとどう向き合うか』 ~当事者の視点から考える~ 講師 一般社団法人 hito.toco 代表 宮 武 将 大 氏 (講演後の質疑15分程度を含む) ☆二部 (第一部終了後 10 分程度休憩 の後) 15 : 30~16:30 グループ別 話し合い

- ・「かがわ総合リハビリテーションセンター」は細やかな新型コロナウイルスの感染防止対策を実施しており必ずそれに従って下さい。

KHJ 香川県オリーブの会 女子会&家族会 in 三豊

開催（月例）日時 : 6月14日（火）、7月12日（火） 時刻（両方共）13:30 ~ 15:30
場所 : 三豊市たかせ人権福祉センター（高瀬町） 場所案内のみ（0875）72-2501
〒767-0011 三豊市高瀬町下勝間 430-1

（三豊市役所庁舎とは国道11号線を挟んで反対方向にあります。）



報 告

●4月24日の例会について

去る4月24日の月例会では、高松市健康福祉総務課 地域共生社会推進室の藤川盛司室長にお越しいただき「高松市が2022年4月から開始する地域共生社会の推進の取り組みにおける対ひきこもりに関連して」と題して講演をしていただきました。

同氏は、前任の藤澤室長の後任として今春着任したばかりですが、この任務に備えたかのように直前の2年間は高松市社会福祉協議会に出向され福祉の現場体験をされており福祉行政に関するスピリットと情熱を備えておられる感があり期待が膨らむ思いがしました。

（ご講演の翌日25日には早速、担当者（片山さん）を伴い当会居場所に来訪（視察）し松本代表と懇談された。

●5月25日「ポコアポコ」の皆様が当会「居場所」を見学のためお訪ねくださいました

「ポコアポコ」は、香川県精神保健福祉センター（県ひきこもり地域支援センター：「愛称アンダンテ」）を基点とするひきこもり当事者の集まりです。

去る5月25日（水）の午後「ポコアポコ」の4人の男性メンバーが県ひきこもり地域支援センターの支援員2名と共に外出訓練の一環として当会居場所の見学にお訪ね下さいました。

当日は、松本代表が対応し簡単にこれまでの約20年間の会の歴史と現状、今の思いと今後についてお話した後、建物の全ての場所を案内させていただきました。

当日、皆様6名を居場所までご案内いただいた香川県ひきこもりサポーターから幸いご感想を含めた文章「訪問記」をいただきましたのでご了解を得た上で以下に掲載します。

「香川県オリーブの会訪問記」

去る5/25（水）午後、私は香川県ひきこもり地域支援センターの支援員2名、利用者4名、計6名の方々によるKHJ香川県オリーブの会の事務所及び居場所見学に同行させて頂きました。

当日はお忙しい中、わざわざお時間をとって下さった松本代表から事務所や居場所等の設備面、そして、当会のこれまでの歩みや現行の活動等について、誠に懇切丁寧な説明を受けました。

利用者4名の皆さんは、やはり、寡黙な方々ばかりですので、自らの感想を言葉にしたり、積極的に質問するという事は勿論ありませんでしたが、その表情や仕草等から、これまでに遭遇した事の無いモノとの邂逅から来る高揚感みたいなものがヒシヒシと感じられました。

それは彼ら4名が現在まで接してこられた行政機関を含めた医療や福祉、就労関係の支援者の方々に対して抱いてきた印象とは明らかに異なる、仲間意識から来る温かさとも言えますか…、ある意味、世間に対して共に闘っていく同志を見つけた心強さとも言えますか…、とにかく、これまで接した事のなかった人物、言葉と出会ったという、良い意味での驚きからくる高揚感の様に私には見受けられました。

隣で私も一緒に拝聴していたのですが、特に、面談の終盤で松本代表の口から発せられた『今は昔と違い、世間からの理解もかなり得られるようになってきている。その為に我々も努力してきたし、今後も努力していく。だから、とにかく、恥ずかしがらずに救いを求めて欲しい、「助けてくれ」と。そうすれば、必ず、誰かが手を差し伸べてくれるはずだから…。』という言葉は相当彼らの心といますか、魂に響いたのではないのでしょうか。

勿論、行政を含めた関係機関の支援者の中にも大変親身に寄り添い、伴走してくださる信頼のおける方々も大勢おられます。私もそういう方々を何人か存じ上げております。

それはそれでとても喜ばしい事ではあるのですが、一方では、その事がひきこもり支援の全体像における家族会の存在意義の相対的な低下を招いている様にも思えます。かく言う私自身も昨今では『行政、民間含めてこれだけひきこもりの支援機関が増えてきた現状においては、もしかしたら、最早、家族会も必要ないのかな…』等という想いが恥ずかしながらも時折浮かぶ事がございました。

そういう私にとりましても、周りの状況が如何に変化しようとも保ち続ける家族会が持つ普遍的な可能性みたいなものを再認識出来たという意味で非常に有意義な一日となりました。私自身、また原点に戻れそうです。

見学を終えて県の高松合同庁舎に戻った後のグループワークの際には、利用者4名の方々からオリーブの会に対するとても前向きで好意的な感想を聴く事が出来ました。彼らにとっても少なからず意義深い体験となった様に思います。そして、本日の見学が彼らの次の一步を踏み出す為のきっかけともなれば、嬉しい限りです。

香川県ひきこもりサポーター 記

(参考)

邂逅(かいこう)とは、「思いがけず出会う」ことを意味する表現で「巡り逢い」とも言い換えられる。

年会費納入のお願い

年会費の納入についてのお願い ****送金の仕方の説明は切り取りして保存をお願いします。**

◎新年度(2022年度)の会費5,000円のお支払いをお早目(7月末まで)にお願いします。

◎ (できれば「ご寄付」もご検討下さい)

送金方法

- ・ゆうちょ銀行（郵便局）窓口に備付の「電信払込請求書・電信振替請求書」によって下記の口座に送金いただく方法 ① か、他の銀行から送金いただく方法 ② のうち、いずれかの方法をお願いします。

【送金（振込）先の口座番号】

（①、②では振込先口座番号が異なります。）

- ① ゆうちょ銀行で現金またはご自分のゆうちょ銀行口座から振込する場合
記号 16300 番号 18531751
ケイエチジェイカガワケンオリーブノカイ : ①、②とも同じ
- ② 銀他行より送金する場合
ゆうちょ銀行 店名六三八（ろくさんはち）
【店番】638 【預金種目】普通預金 【口座番号】1853175

* 郵貯銀行に普通貯金口座をお持ちの方は、ATM を使用し口座間の振替をすれば100円の手数料で送金が可能です。



【2022年6月以降の各会等の予定】

（相談窓口・傾聴サロン）

内 容	月	日	曜	時 間	担 当
ひきこもり電話相談窓口 （来所相談も可）※先ずは☎ 087-802-2567 をお待ちしております － 第5土曜日は全て休みです －	6	4、11 18、25	土	10:00～16:00	加藤ほか
	7	2、9 16、23	土	10:00～16:00	加藤ほか
ひきこもり当事者傾聴サロン ※連絡先：☎ 087-802-2567 － 第1・3土曜日に行います －	6	4、18	土	13:00～16:00	サポーター登 録者・平野
	7	2、16	土	13:00～16:00	サポーター登 録者・平野

（注）コロナウィルス感染防止のため一時休止していた、高松市ひきこもり当事者傾聴サロンは再開しました。

初めて参加される方は、（☎ 087-802-2568）オリーブの会まで、お電話ください。

（運営委員会等）

内 容	月	日	曜	時 間	摘 要
第3回運営委員会（2021年度）	6	18	土	13:30～16:30	
第4回運営委員会	7	16	土	13:30～16:30	
第5回運営委員会	8	20	土	13:30～16:30	

第6回運営委員会	9	17	土	13:30~16:30	
第7回運営委員会	10	15	土	13:30~16:30	

* ポパイの会（居場所活動）予定は、別途印刷の同封のパンフをご活用ください。

お知らせ

- ・同封した「たびだち」春季号第101号は「生活とお金」の特集記事の掲載があります。

リニューアルされた「たびだち」は会員の紹介で会員以外にも定期購読されている方が幾人もおられますが、KHJ本部は新「たびだち」の購読者数の増加を強く願っています。

是非、冊子のご紹介と合わせ定期購読のお勧めをお願いします。

年間購読料（通常4回発行）：3,000円（配達料含み）

- 本年度のKHJ本部の通常総会は6月26日（日）12:00～12:50の予定で開催されます。その後、引き続いて13:10～16:40の予定で「KHJ全国支部長会議」が開かれます。上記はいずれも、ZOOMで行い、今回、本部は支部長はもとより役員・運営委員の方々の出席を望んでいます。出席可能な方は6月15日（水）迄に松本代表に何かの方法でご通知をお願いします。
- KHJ本部主催行事「ピアサポ・フェスティバル in 高知」 — えいやんか みんなピアで えいやんか — が8月6日（土）13:00から～7日（日）16:00まで高知市内の二つの会場を使用し開かれます。
KHJ ピアサポ・フェスティバル in 高知「えいやんか みんなピアで えいやんか」
[//www.khj-h.com/news/training/7093/](http://www.khj-h.com/news/training/7093/)
- KHJ本部主催行事「2022年度KHJピアサポーター新規養成研修会」基礎研修が8月4日・5日（集合方式）とオンライン研修（8月25日～28日、4日間）、同実践研修は2023年2月5日に東京（集合方式）、2月12日（オンライン方式）で開かれます。本部ホームページに詳細あり [//www.khj-h.com/traning-dispatch/peersuporter/](http://www.khj-h.com/traning-dispatch/peersuporter/)
- KHJ全国大会（実践交流研修会）は今年11月5日・6日（2日間）兵庫県内で開催されます。集合方式とオンラインを併用して実施予定ですのでこちらも是非ご出席をお勧めします。
（プログラム等細部は現在検討中）

以上